

周産期母子医療センターを受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	早産児における黄疸因子・感染症と発達予後の関連性についての検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）周産期母子医療センター （職名）講師 （氏名）神農英雄
研究の対象となる方	2009年4月1日から2021年3月31日までに出生した、在胎35週以下かつ出生体重1500g未満のお子様のうち、6歳まで外来診療を受けた方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2029年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 早産児では、新生児期に黄疸や感染症を発症することが多く、これらが長期的な発達予後に関連する可能性があります。本研究では、黄疸や感染症と発達予後との関連について解析を行い、早産児における予後改善につながる因子を明らかにすることを目的としています。 〔利用方法〕 診療録（カルテ）情報を用いて解析します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録（カルテ）から、在胎週数、出生体重、性別、母体情報、新生児期合併症、感染症の有無、黄疸関連データ、血液検査結果、呼吸管理や治療内容、3歳時および6歳時の発達検査結果等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年3月31日までに電話より下記問い合わせ先まで申し出てください。 なお、既に解析済みまたは学会・論文等で公表済みの情報については削除で

	きない場合があります。
外国への試料・情報の提供	〔外国の名称〕 非該当 〔個人情報の保護に関する制度の情報〕 非該当 〔個人情報保護のための措置に関する情報〕 非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 周産期母子医療センター 担当者：(職名) 講師 (氏名) 神農英雄 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22150)